

よかしの木

第57号

2017年7月号

発行 (社福) 聖ヨハネ会
高齢福祉部門
広報委員会

〒184-0005
東京都小金井市桜町1-2-24
電話 042-381-1234
桜町聖ヨハネホーム

これからのヨハネ会高齢福祉部門 中期経営計画

ヨハネ会高齢福祉部門 統括施設長 藤井 律治
桜町聖ヨハネホーム園長

6月19日～20日、那須で日本カトリック老人施設協会関東支部研修大会が開催されヨハネ会高齢福祉部門は、8名で参加した。経営層の分科会では、『カトリック施設の継承課題と人材育成』が取り上げられて創設期の神父様やシスター方が、第一線を退かれていく中で、カトリック施設がいかにキリスト教の愛の精神の理念を継承していくのかをテーマに率直に話し合い、現状を共有した。

最終日は、梅村昌弘司教様が同じテーマで講演をして下さり、横浜司教区とカトリック学校の実践を挙げながら、同じようにカトリック福祉施設は、司教が認めた、かけがえのない施設で、無責任に撤退するわけにいかない、この世の価値観と違うキリスト教の愛の精神を、継続していく使命があると大きなエールを頂いた。その後の派遣ミサも参加会員にイエス様からの恵みと勇気、希望を感じさせるものとなった。これからのカトリック福祉施設は、施設単独でなく修道会・教区・教会と日本カトリック老人施設協会などの共同体が連携し知恵を出し合い、協力しながら前に進んでいかなければならないと改めて思った。

さて、ヨハネ会高齢福祉部門のこれからはどこを目指すのか。過去3年程度は、財務改善を集中的に取り組んできたが三施設とも良い結果も出て、いよいよ本格的に将来を見据えた中期経営計画を策定した。現在の経営層がまず着手したのは、SWOT（強み・弱み・機会・脅威）分析で、特に自らの弱みを真摯に向き合うことから始めた。



2017年4月 小金井公園へお花見

その中からキリスト教の愛の精神を根底とした理念に基づくビジョンを定めた。ビジョンは、これまでのヨハネ会の高齢福祉が継続的に貢献できたところも取り入れ、『老いから看取りまでができる総合福祉施設』、『多様な福祉ニーズを解決できるヨハネ会』、『小金井に住んで良かったと思われるヨハネ会』の3つとした。このビジョンを目指して、『人材育成の視点』、『組織の視点』、『サービスの視点』、『財務の視点』の4つの視点で戦略を組み、経営目標と具体的アクションプランを立てている。

私たちの目指すビジョンは、創立者戸塚文卿神父様が願ったカトリック法人の理念を根底にしている。創立者から続く精神を次の世代、次の世代へと繋げていくためには、やはり人と組織の成長が不可欠であると思う。

目の前の仕事を心を込めて実践してきた信頼と実績はあるが、それだけに頼ってはいけず、責任を持って次の世代にこの素晴らしい仕事を繋げていけないのではないだろうか。『人と組織の成長』は、職員の誰もが謙虚になり努力しなければ得られないものだと思うが、私たちには、誇るべきキリスト教の理念がありビジョンがある、全員一丸となり、希望を持ち前に進んで行きたい。

4月に法人合同入職式と高齢福祉部門新任者研修が行われました！

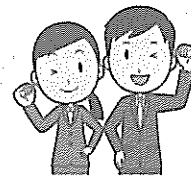
法人合同入職式



①社会福祉法人 聖ヨハネ会
法人合同入職式 毎年4月に、医療部門・障害福祉部門・高齢福祉部門の新入職員が一同に集まり、戸塚ホールで実施されます。理事長挨拶や幹部紹介・理念の学び・敷地内の施設見学の後、最後に教会での主任司祭のお話があります。



②法人合同入職式
③法人合同入職式を終えてホーム玄関前で高齢福祉部門の14名の新入職員と記念撮影。新しい仲間とスタート！



新任者研修



①高齢福祉部門は、合同入職式の後、3日間のプログラムで新任者研修を実施します。
真剣な表情で、『高齢福祉部門が目指すもの』を聴く



②施設サービスと在宅サービスの総合的な説明を受けます。この日は、体験で車椅子に座り続け研修を受けます。



③栄養部の研修では、食形態の試食もあり、いつも盛り上がります。



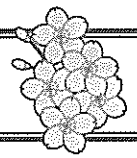
④認知症体験研修
どう感じたことでしょうか…。これからのケアに生かされます。

ヨハネ会高齢福祉部門の新任研修

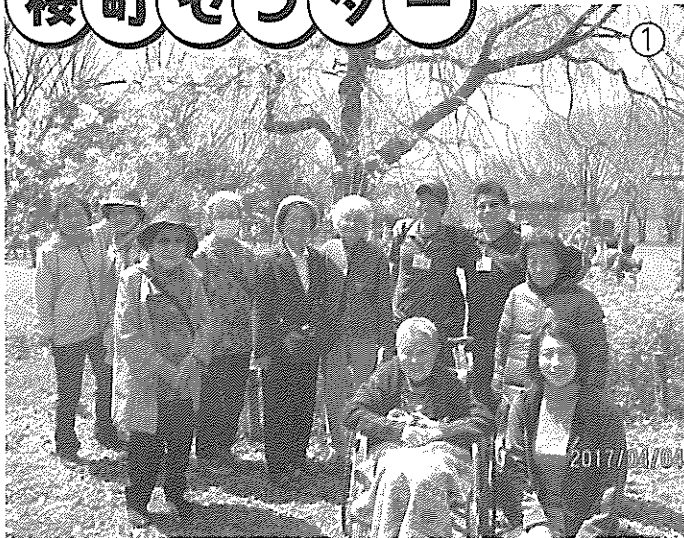
3日間の総合的な新任者研修を終えると、いよいよそれぞれの現場でOJTが始まります。

ヨハネ会では人財育成を重視しています。たとえば介護係では、約6ヶ月かけて新任担当職員を中心に段階を踏んでケアを一から丁寧に教えていくので、安心して業務に入ることが出来ます。在宅部門でも各現場の研修を終えOJTが始まります。





桜町センター



- ①介護予防クラスで小金井公園にお花見に行きました。お天気にも恵まれ綺麗な桜を見物できました。お団子があればもっと良かったと感想がありました。

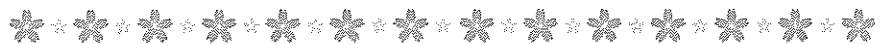


- ②アルスクインテットの皆様による素敵な演奏がありました

- ③初めてのフラワーアレンジメントでしたが、綺麗に仕上がりました。



本町センター



- ①本町センターでは毎年お花見ドライブに出かけます。初めに訪れた多磨霊園では満開の桜のトンネルをくぐりました。



- ②「キレイねー」という言葉とともに思わず顔がほころびます。



- ③車窓から見える桜並木に見入っています。



- ④道中、桜だけでなくパンジーなども楽しむことができました。



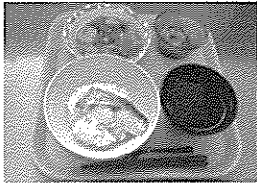
- ⑤こちらは味の素スタジアム近くの桜です。お天気にも恵まれ春の訪れを感じられるドライブになりました。



郷土料理を始めました 

メニュー「愛媛県の郷土料理」

- 鯛めし
- 鯛の清まし汁
- 芋炊き
- みかんと
- ジャコのサラダ

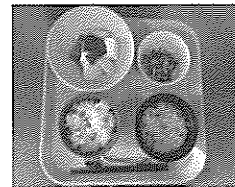


ご利用者様との交流会で、「昔は〇〇料理を食べたのよ。また食べたいわ」という会話がキッカケとなり郷土料理を作り始めました。
「今月はどこの県かしらと。月1回の提供をご利用者様の皆様が楽しみにして下さい、栄養部でも毎回合いが入ります。」



メニュー「京都府の郷土料理」

- うすいえんどうまめご飯
- 九条葱と卵の清汁
- 豆腐と筍の田楽
- 菜の花と湯葉のお浸し



ボランティア

音楽セラピー ハープ演奏
リラ・プレカリア所属 村岡 晶子さん



- ①ヨハネホームでのボランティア活動歴 → 約1年です。
- ②ヨハネホームでのボランティア活動を始めたきっかけ
→心身の癒しを必要とされる方の「いのちの尊厳」に寄り添い、音楽による祈りを通して、「ありのままに尊い価値のある存在ですよ」というメッセージを 神様の愛と慈しみをお届けしたいと思ったからです。
- ③ヨハネホームに一言お願いします
→いつも心から感謝しています。スタッフの皆様のご利用者様への優しいお心配りや笑顔に感動しています。これからもご利用者様にとってホッとするような居心地の良いヨハネホームであってください。

今後の予定

ヨハネホーム

- 7月26日 納涼祭
- 8月12日 平和慰霊祭
- 9月18日 敬老の日
- 10月8日 桜町聖ヨハネ祭



桜町センター

- 8月7日～10日 夏祭り
- 9月18日～23日 敬老週間



本町センター

- 8月11日 ヴォーチェ・アブリートコンサート
- 8月16日～18日 納涼祭
- 9月18日～23日 敬老週間
- 9月26日 防災避難訓練

【編集後記】

桜満開の元、新入職員の入社式を終え、季節はすっかり夏となりました。季節の移り変わりは大変早いものと年々感じております。

この度、高齢福祉部門の広報に初めて携わり、非常に多くの方に支えられていることを実感できました。これからもその気持ちを忘れずに発信させていただきます。(H.F)